



来週から“家庭学習がんばり週間”になります。

いよいよ7月に入り、夏休みまで3週間あまりとなりました。体育祭や冒険活動教室、修学旅行などの大きな学校行事も無事に終わり、1学期の中間テストの結果も返されたところだと思います。ぜひ次の目標を立てて頑張ってください。

さて、陽西中学校では、今年度の学習指導の目標として、**家庭学習の習慣化と内容の充実化**に取り組んでいます。そこで、来週からの2週間を「家庭学習がんばり週間」として、保護者の方にもご協力いただき、夏休みに向けて家庭学習の習慣化・充実化を図っていきたいと考えています。自主学習を行うことで、裏面のような子どもが育つと言われています。この期間に少しでもお子様と自主学習ノートを挟んで会話をする時間をとっていただければと思います。お忙しいとは思いますが、ぜひご協力をお願い致します。

自主学習サポーターのお願い

保護者の方は、自主学習を応援して下さる《サポーター》になっていただきたいと思います。保護者の皆様は、下の『自主学習サポーター宣言』を読み、「家族の方のサイン」のところにサインをしてください。できれば家族みんなのサインをいただき、家の中のみんなが見える場所に貼っていただくと、常に意識して頑張る・応援するということができるかと思います。どうぞよろしくお願い致します。



自主学習サポーター宣言

私は、自主学習サポーターとして、

- ①家庭学習をしようとするやる気をほめます。
- ②少しでも進歩したり、できるようになったらそれを一緒に喜びます。
- ③万が一忘れてたり、やり方がわからなくなったら、助けます。
- ④家庭学習が終わったら、サインをしてその努力をほめます。

家族の方のサイン





今回の“家庭学習がんばり週間”は **7月5日（月）～16日（金）の2週間**です。

《進め方》

- 生徒の皆さんは、今まで通り毎日自主学習を行います。その後、自主学習ノートを、いつでもどこに出すのか、保護者の方と決めておき、ノートを保護者の方に提出します。（保護者の方もお忙しいので、毎日でなくてもよいです。）
- 保護者の皆様は、上の宣言を少し意識して、お子様の自主学習ノートを見て、できれば褒め言葉とともにサインを書いてあげてください。（1週間に2～3回程度見ていただければありがたいです。無理のない範囲でお願いします。）
- なかなか自主学習が進まない生徒には、**学校**でもアドバイスをしたり、昼休み等と一緒に学習したりする時間を設けます。

《自主学習でめざす7つの子ども像》

(『子どもの力を引き出す自主学習ノートの作り方』伊垣尚人著 ナツメ社 より)

①自ら学ぼうとする子

家に帰ったら自分から机について、学習を始める。この習慣が身に付いた子は、家庭学習だけでなく、授業へ向かう心構えも大きく変わってきます。自ら取り組むスイッチが入ったとき、吸収する力は大きなものとなります。物事に受け身ではなく、「自分から」関わっていこうとする能動的な態度を持っている子です。

②深く考えたり、工夫できる子

学習の工夫ができる子は、学習内容をしっかりと押さえていくことだけにとどまらず、自分の学び方をメタ認知する力（自分で自分のやっていることを理解する力）をも高めていきます。「今日のよかった点は何だろう？改善点は？」と振り返ったり、「学校の授業に効果のある学習をやっているかな？」と深く考え、工夫できる子です。

③学習の計画が作れる子

1週間に取り組む学習メニューや、その日に学習することを自分で考える経験を積み重ねていくことで、見通しをもって学習する力、計画する力を身につけることができます。自分で作った計画を守れる子ほど、勉強ができるようになり、中学校以降の学習にも好影響を与えます。続けるにはがまんが必要などきもありますが、やる気だけでなく、がまんで覚えることで、自制する力を持てるようになってきます。

④家庭学習を続けられる子

続けることはとても難しいことですが、子どもの頃から学ぶ習慣をもっている子は、将来も同じように学び続けることができます。自主学習により、物事を最後まで続けようとする、意志の強い子が育ちます。また、その意志に支えられた「継続する技術」を持つことができます。

⑤友達と一緒に学ぼうとする子

人が最も学べるのは、人と関わっていたり、学習している内容に意味や文脈を見いだしているときです。決して一人だけでがんばるのではなく、クラス、または学年みんなで学び合いながら育っていく。自主学習では、そんな人と関わっていく力も身につけることができます。

⑥自分が好きで、あきらめない子

勉強が苦手で、おもしろくないと感じている子どもも、小さな成功体験を積み重ねていくことで、自信を育むことができます。自主学習を1日、また1日と継続するごとに、自分の努力が「見える化」されます。学んでいるときのおもしろさも増加して、勉強ができるようになってくるので、自尊感情が育ち、自己肯定感が高まります。そして、最後まであきらめない強い意志がもてるようになります。

⑦勉強を楽しんでいる子

新しいことを知る喜びや、できないことができるようになった喜び、その一つ一つが、子どもにとってはとても楽しいもの。自主学習の取り組みで、そんな勉強の楽しさを知ることができるようになります。

